

(様式3)

事業所名 グループホーム鶴の家

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 11 月 19 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	これまで虐待防止関連法について学びで職員は理解しているが、さらに正しく理解を深め、それを高い水準で持続させるためには定期的な研修の実施が望まれる。開設して1年目は慌ただしく外部研修への参加もなかったが、今後はさらに全職員が常に意識してケアを行うために、研修等の実施について工夫したい。	虐待防止関連関連法については当初開設時に研修を受け、職員全員が共有しているところ。しかしながら職員のスキルが一様でなくまだまだ全員が法律も含めて介護のマンパワーが十分に働いているとは思われません。今後は十分な研修を実施し、職員一人一人が理解が深まるよう努力して行きたい。	この課題についても社内的には今後研修が実施される予定になっております。その際にはグループホーム鶴の家の職員も参加しますので、その研修をもとにして各ユニット毎に研修をし、理解を深め、高い水準で持続できるよう努力して参りたい。と同時に外部研修等がありましたら職員を研修に出したいと考えております。	2ヶ月
2	31	現在看護職の不在のため医療連携の看護の部分が欠落しております。その分に関しては十分医療機関と介護職が密に連携しながら業務を行っておりますが、やはり入居者の日常の生活の中で散見する状態を把握し、看護職協働して対応することが医療連携のありようとしては望ましいと考える。	開設当初は常勤、非常勤の看護職が在籍しており医療機関、看護職、介護職と十分な連携が取れていました。昨年9月より常勤、非常勤の退職に伴い介護職、医療機関と十分な連携を取りながら進めて参りましたが、しかしながら入居者の安心安全の確保に繋げていくには何としても看護職の必要性を感じ、今後訪問看護職を受け入れることにしました。	既に訪問看護師の受け入れの準備は整い、来春の1月1日付で契約の運びとなっております。これにより看護職、介護職、医師との連携が整い入居者の適切な受診や日々の安心、安全に繋がり、またご家族への安心に繋がってひいては介護職への精神的な負担も軽減されて行くものと考えます。これにより看護体制の24時間対応が可能となります。	2ヶ月
3	6	利用者の安全性の確保を支援しながらも自由な暮らしに寄り添ったケアを実践するために、全職員が「禁止となる具体的な行為」や弊害について話し合うなどより理解を深めることが望まれる。今後も理解の高い水準を維持するためにも、定期的な研修を継続していくことを期待したい。	開設時は一通りの研修を行い、その中には身体拘束についての話もさせて頂きました。今後においても十分な時間を取り、職員皆が身体拘束をしないケアのあり方を研修していきたいと考えておりますし、外部への研修にも機会があれば職員の派遣をしたいと考えております。	社内的には既に研修がなされておりますが、グループホーム鶴の家は昨年7月開設だったために系統だった研修はなされておられません。グルホ内においては身体拘束等しておられません、今後社内、社外研修を通じてより密度の濃い身体拘束をしないケアの実践に取り組んで参りたいと思います。	6ヶ月
4	29	地域資源との協働で観桜会や町内会の催し物への参加等で未だ不十分な面も多々あります。今後の問題点、課題は参加できる入居者には大いに職員付で参加し、また町内会の皆様が施設の多目的室等のご利用についてもお声がけしているところです。	今後の課題としては施設を地域の介護の拠点としての役割等で介護の話や認知症の話し等で皆さんにご利用いただいたり。地域住民の文化・芸術の発表の場などにご利用をいただけるようお声がけしていきます。	この11月に手打ち蕎麦打ち体験・実演会を開催して地域住民や地域包括の方、入居者のご家族の方をご招待させていただきました。この12月には地域住民の慰問がありハーモニカ演奏が実施されます。又来春には入居者のご家族様の歌とピアノの慰問等が控えておりこれらを通じて、より一層地域資源の活用を具現化して行こうと考えております。	6ヶ月
5					ヶ月